

基幹システムのセキュリティー機能向上

トラベル・エボリューション 利用拡大図る

トラベル・エボリューションは、業務渡航系基幹システム「トラベル・エボリューション」をバージョンアップした。

セキュリティー機能を向上させたのが最大の特徴で、新たな導入企業として大阪を拠点に業務渡航を主に扱うエイ・トラックスと契約を結んだ。エイ・トラックスは、コンプライアンス意識の高い企業を顧客に持つという。

トラベル・エボリューションは、顧客データ最終閲覧者の保存機能といった保守機能を持つほか、今回の契約では、データベースを自社内に設置するというセキュリティー管理方法が決め手となったとみている。

他ユーザーからも危機管理機能への要望は高く、データ集約機能の精度も高めた。

また、これまでアクセス、インフィニ、アマデウスの各GDSに対応してきたが、アポロにも対応できるようにし、帳票出力もこれまでの倍の速度に向上させた。ネット精算にも対応している。

トラベル・エボリューションの小山文宏社長は、「業務効率化が求められる時代に即したシステムで、旅行業経営に貢献できる」と自信を見せる。

データベースを設置せずに済む業務渡航専用旅行業支援システム「トラベルマイスター」等を含めた同社のシステム導入企業は現在10数社。今年度中にもう1社とトラベルエボリューションの導入契約締結を目標としている。

(Travel Journal Gateway 2011年6月15日掲載記事より)